

昭和39年度吉田賞委員会の経過について

吉田賞委員会 委員長 山 本 三 郎

昭和39年度の吉田賞委員会の委員長として、吉田賞授賞者決定の経過とその授賞理由、および吉田研究奨励金の被授与者決定の経過を申し述べます。

吉田賞は、コンクリートおよび鉄筋コンクリート、ならびにこれらに関連する優秀な研究論文または業績に対して授与されるものであり、また吉田研究奨励金は、コンクリートおよび鉄筋コンクリート、ならびにこれらに関連する研究のうち、特に独創性と将来性に富むと認められる研究課題の研究者にたいして授与されるものでありまして、いずれも故吉田徳次郎博士の功績を長く記念するために設けられたもので、今回は第4回目にあっております。

これらの選考につきましては、まず39年8月5日に第1回吉田賞委員会を開き、委員会の運営方針を打合わせ、候補者の推せんおよび応募について学会誌上に発表致しました。40年1月20日の期限までに各方面より推せん、応募されました吉田賞候補者は7件、また奨励金候補は11件でありました。

本委員会は、これらの候補の選考に当り、40年3月31日に第2回委員会を開き、吉田賞候補につきましては、その内容を検討して本審査に付すべき候補3件を選出し、また、吉田研究奨励金候補につきましては、小委員会を設けて審査することに致しました。

ついで、40年4月30日、第3回吉田賞委員会におきまして、再度討議を重ねて、受賞者と、奨励金の被授与者を決定致しました。

すなわち、吉田賞受賞者として藤田嘉夫君、また吉田研究奨励金につきましては、後に述べます7件に対してこれを授与することに決定したのであります。

つぎに吉田賞授賞論文の選考理由と、吉田研究奨励金授与の研究課題と研究者名を申し述べます。

吉 田 賞

単純曲げをうける鉄筋コンクリート桁およびプレストレスト コンクリート 桁の極限強さ設計法に関する研究

(北海道大学工学部研究報告32号 昭和38年10月)

正会員 藤田 嘉夫

本論文は、著者が昭和29年以来続けてきた、鉄筋コンクリート桁およびプレストレスト コンクリート桁の極限強さ設計法に関する成果を述べたものであります。

著者はまず、圧縮強度200~500 kg/cm²の広範囲の品質のコンクリートについて、そのヤング係数、応力ひずみ曲線、極限ひずみ、など載荷時の変形性状を明らかにし、その結果をもととして、桁の破壊時ならびにひびわれ発生時の応力分布を研究し、ひびわれおよび破壊曲げモーメントの計算式を導入し、多くの鉄筋コンクリート桁およびプレストレスト コンクリート桁の実験を行なって理論の妥当性を確かめたのであります。著者は、さらに鉄筋コンクリート桁のひびわれ発生にたいする鉄筋の種類、カプラー継手、異形鉄筋のフックなし重ね合わせ継手、などの影響を明らかにし、特にコンクリートのクリープおよび乾燥収縮が鉄筋コンクリート桁のひびわれにおよぼす影響について論じ、鉄筋コンクリート桁およびプレストレスト コンクリート桁に対する総合的な極限強さ設計方法を示し、これによりひびわれおよび破壊曲げモーメントを計算するための多数の実用上便利な図表を作製いたしました。著者によるこれらの研究は、鉄筋コンクリートおよびプレストレスト コンクリートの極限強さ設計法に新たな提案を加えた労作であり、コンクリート構造物設計の合理化に寄与するところが大きいです。

よって吉田賞に値するものと信じます。

吉田研究奨励金授与の研究課題と研究者名

PRC 桁のひびわれに対する収縮およびクリープの影響について

角 田 与史雄

コンクリート用型枠の構造と締固め効果に関する研究

尾坂芳夫・山口良雄・林 博

ハイアルミナ セメントの鉄道工事への応用に関する研究

久門田環・本岡和雄・羽取 昌

ソイル セメントの力学的性質に関する研究

川村 満 紀

保水性混和材を用いた軽量コンクリートの製造について

杉山嘉徳・満木泰郎

注入によるコンクリートのひびわれの補修方法

町田 篤 彦

低温下におけるコンクリートの性状に関する基礎研究

吉田 弥 智

以上の研究者はいずれも前途有為な方々であり、その研究課題はいずれも独創性と将来性に富むものでありまして、奨励金授与に値するものと認められます。この方々によりまして、今回の奨励金が活用され、研究目的が達成されますとともに、これらの方々が一層立派な研究者、技術者に成長されますことを確信する次第であります。

吉田研究奨励金授与者



角田与史雄氏
北海道大学大学院



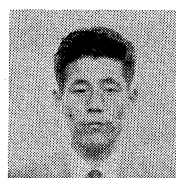
尾坂芳夫氏
国鉄構造物設計事務所



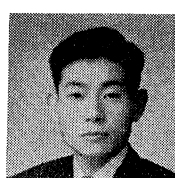
山口良雄氏
国鉄東京幹線工務局



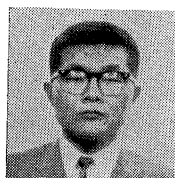
林 博氏
国鉄東京工務局



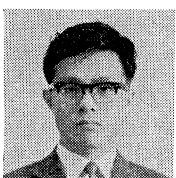
久門田環氏
国鉄大阪工務局



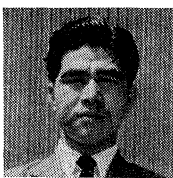
本岡和雄氏
国鉄大阪工務局



羽取 昌氏
国鉄大阪工務局



川村満紀氏
神戸大学工学部



杉山嘉徳氏
東北大学工学部



満木泰郎氏
東北大学大学院



町田篤彦氏
東京大学大学院



吉田弥智氏
名古屋工業大学

明日の工事への貴重な指針となる

定評ある土木学会の報告書シリーズ

東京都新宿区四谷1丁目
振替 東京 16828 番

B 5判 692頁	日本道路公団編	関 門 ト ン ネ ル 工 事 誌	1 500 円 (会員特価 千 200円)
B 5判 2356頁	日本道路公団編	若戸橋調査報告書・工事報告書 〈昭和 39 年度土木学会賞受賞〉	30 000 円 (千 共)
B 5判 230頁	電源開発 K K 編	工事報告 大島セミ アーチ ダム	1 200 円 (会員特価 千 150円)
B 5判 予 350頁	編集委員会編	工事報告 川俣ダム アーチ ダム	1 500 円 (予定価格 8 月刊)
B 5判 予 550頁	九州電力 K K 編	工事報告 一ツ瀬 杉 安 アーチダム	2 300 円 (予定価格 12 月刊)
B 5判 予 1400頁	関西電力 K K 編	工事報告 黒部川 第四発電所	9 500 円 (予定価格 12 月刊)
B 5判 予 1000頁	編集委員会編	新潟地震調査報告書	未 定 (41年2月 出版予定)

工事報告類の出版も学会ではお引受けしております。ご希望の向きは土木学会編集課 (351-5130) へご相談下さい。